2-4. 最上川上流水面利用協議会準備会（仮称）の開催経緯

朝日町では、町が主体となり、地元のカヌー愛好者やカヌー大会を運営するカヌーショップ、自然体験による町づくりを支援している NPO 等と協議会を設置する方向で検討を進めています。

山形河川国道事務所では、昨年度に「最上川上流水面利用協議会準備会（仮称）を開催し、準備会メンバーから、さまざまなご意見をいただきました。

●開 催 日：平成 14 年 11 月 21 日
●場　　所：山形河川国道事務所　会議室
●メンバー：山形県カヌー協会　加藤理事長
NPO 法人エコミュージアム協会　登坂副理事長
朝日町：若槻建設課長、阿部企画課長、地域振興課長
山形河川国道事務所：松川河川副所長、鈴木工務第一課長、
小田桐計画係長、熊谷技官、堀切寒河江出張所長

●検討事項：
- まちづくりとの関係
- 整備内容
- 整備方法（整備上の役割分担）
- 利活用方策（PR 方法、漁業との調整等）
- 維持管理方法（地域との協働による管理等）

●主な意見：

項　目	意　見
整備手法	・カヌーも釣りも両方活性化できる手法を考えたい。（山形河川国道事務所）
町づくり	・定住人口と交流人口でまちづくりをしたい。（朝日町）
宿泊施設・キャンプ場	・雪谷は初心者コースで人があつまるところ。玉ノ井は上級者コース。交通や宿泊のことまで考えて欲しい。（カヌー協会） →宿泊は自然館が考えられるが少し遠い。 ・玉ノ井にはあまり施設はいらない。みなテントをはって宿泊している。（カヌー協会） ・少し遠いが、リンゴ温泉のそばにキャンプ場をつくったら見晴らしも良い。（カヌー協会）
駐車場	・雪谷地区は、町の宝物のひとつという位置づけ。景観としての楽しみの場に、駐車場が入るのはよくないのではないか。（エコミュージアム協会） →雪谷地区には、トイレと駐車場が必要。（朝日町）
親水階段	・観客のための整備が必要。水際の階段。カヌーはのれないけど見ることはできる。（カヌー協会）
散策路	・流れに沿った散策路なども欲しい。散策路は舟をかついで戻れる道になる。（カヌー協会）
広場	・高水敷を整備して広場をつくる。（カヌー協会）
観客	・カヌーイベントに子どもがくれば親もついてくる。選手が 300 人なら、親も含めて 500 人がくる。親子カヌーもいい。ただし二人乗りはあまり使わないのでレンタルになるが、レンタルでは商売にならない。（カヌー協会）
練習場	・練習場の確保が必要。天塩川のカヌー基地を参考に考えている。（山形河川国道事務所）
素材	・現地の材料を使う。最上川は流れが強いのでかごマットになるかもしれない。（山形河川国道事務所）
支障物	・最上堰の改良も必要か。（山形河川国道事務所）
他自治体との連携	・コースと下流の連携も必要。「最上川活性化協議会」というのも良いのでは。（カヌー協会） ・協議会を開催するには、キャンプ場だけではだめ。宿泊施設が必要。（カヌー協会）
ダムとの連携	・上郷ダムの放流などの連携もとれればよい。ただし電力料金に換算されたりすると困る。（山形河川国道事務所）
その他	・Ｐ＆Ｇ財団の助成を使うと良いのではないか。（カヌー協会） ・北海道の「川の時刻表」も良い。（山形河川国道事務所）